



## 中央会事業より

### スキルアップセミナーを開催

7月19日(金)、秋田市の拠点センターアルヴェ内「秋田市民交流プラザ」において、第1回スキルアップセミナーを開催し、会員組合等から29名が参加しました。

本事業は、組合運営の要となる事務局役職員の資質向上を図り、組合の活性化に繋げることを目的として、「人材育成」、「金融・資金調達」、「段取り力」、「情報発信」をテーマに、様々なジャンルの講師を招いて全4回開催するものです。



【セミナーの様子】

第1回目となる今回は、「人材育成」をテーマに、食彩総研株式会社代表取締役で元秋田ふるさと村代表取締役専務の若杉清一氏を講師として、ご自身の半生や仕事の流儀、これまでの本県の企業再生に係る経験等についてご紹介いただき、参加者からは「部下の指導について参考になった」、「自分の生き方について考えさせられた。」と大変好評を博しました。



【講師の若杉清一氏】

### 組合活力向上事業を開催 ～秋田県自動車車体整備協同組合～

7月10日(水)、大館市の大館車検場において、秋田県自動車車体整備協同組合(山王丸洋一理事長)の組合員を対象に、第1回組合活力向上事業(研修会)が開催され、20名が参加しました。

本事業は、新型自動車における電子制御化が広がりを見せるなか、電子制御車の整備には故障診断機(スキャンツール)の使用が必要であることから、その普及促進を目的に開催されました。

また、当日は本田技研工業株式会社より講師を招き、新鋼材である「超高張力鋼板」に関する板金技術研修も行いました。

超高張力鋼板は軽量・高強度であることから今後確実に普及が見込まれており、試験用テストピースを用い実際に溶接作業を行うことで、参加者はこれまでの鋼材との違いに驚きと関心を示していました。

当組合では、今後も整備士養成の一環として県内各会場で計6回の研修会を開催する予定です。



【研修会の様子】

### ボランティア活動に取り組んでいます ～秋田港周辺の清掃活動に参加～

本会では、昨年からのボランティア活動に取り組んでおり、7月15日(月・祝)、秋田港周辺で行われた清掃活動に参加しました。

今回のごみ拾いは、日本たばこ産業(JT)が「ひろえは街が好きななる運動」の一環として行ったもので、秋田たばこ販売協同組合も協力団体となっています。当日は、「海フェスタおが～海の祭典2013 in 秋田」を控えた秋田ポートタワー「セリオン」周辺で行われ、本会からは15名の職員が参加しました。

心地よい風が吹く中、受付で渡されたごみ拾い用のトングとごみ袋を手にそれぞれが熱心にごみ拾いを行い、本会を含め、最終的な参加者は約300人で125キロのごみが回収されました。

参加した実感としては、それほどごみが散乱している印象ではなかったものの、125キロのごみがあるということで、回収したごみをさらに分別するという作業を通して改めてごみ問題を考える契機となりました。



【清掃活動を終えて】

## ■40周年記念式典・講演会・祝賀会を開催 ～協同組合横手卸センター～

6月27日(木)、横手市の横手セントラルホテルにおいて、協同組合横手卸センター(多賀系敏雄理事長)の創立40周年記念式典が盛大に開催され、関係者87名が出席しました。

当組合は、駐車場不足の解消や効率的な物流システムの構築など近代的な卸センター設立のため、昭和48年に設立されました。

記念式典では、まず、将来ビジョンが披露され、特産品を首都圏への売り出すことやソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を活用した販路拡大を図っていく「みちのく総合商社」プロジェクトなどが発表されました。続いて、多賀系理事長の挨拶の後、功労者・永年勤続者の方々に、本会塩田謙三会長等から表彰状並びに記念品が授与されたほか、横手市の五十嵐市長など来賓から祝辞が述べられ、記念講演も行われました。その後行われた祝賀会には、180名が出席し、横手商工会議所の奥山会頭の乾杯で宴に入り、終始和やかな雰囲気の中で40周年の節目を祝いました。



【40周年記念式典の様子】

## ■中小企業・小規模事業者政策緊急フォーラムに出展 ～秋田県漆器工業協同組合～

6月30日(日)、東京都の自由民主党本部において、中小企業・小規模事業者政策緊急フォーラムが開催され、展示ブースに本県から秋田県漆器工業協同組合(佐藤善六理事長)が出展しました。

このフォーラムは、今後の中小企業政策について意見交換し、政策立案に活かすために自由民主党が主催したものです。

今回、会場内に設けられた展示ブースに出展したのは、当組合の「川連漆器」と宮城県石巻市の雄勝硯生産販売協同組合の「雄勝硯」及び福島県双葉郡の大堀相馬焼協同組合の「大堀相馬焼」の3組合連携商品である「復興祈念硯箱」一式です。

当日は、安倍晋三内閣総理大臣と甘利明経済再生担当大臣が展示ブースを視察に訪れ、佐藤理事長が「復興祈念硯箱」の説明を行いました。今後は、被災地復興を目指して、他の2組合とともに商品をPRしていく予定です。



【安倍総理に商品説明を行う佐藤理事長(左)】

## ■地域商店街活性化事業(第2次募集)事業説明会を開催

～秋田県商店街振興組合連合会～

7月4日(木)、秋田市のアキタパークホテルにおいて、秋田県商店街振興組合連合会(平澤孝夫理事長)主催による地域商店街活性化事業(第2次募集)説明会が開催され、関係者23名が出席しました。

この地域商店街活性化事業は、国の緊急経済対策の一環で平成24年度補正予算として実施され、主として商店街等が行うイベント事業に対して助成されるものですが、秋田県商店街振興組合連合会が本県の申請窓口となっています。

説明会では、事務局より募集要項の内容を中心に説明を行い、特に商店街任意団体等の応募申請書類の書き方について、重点的に説明が行われました。

今後、事業の採択が行われ、順次、商店街等の賑わい創出のためのイベント事業が実施される予定です。



【事業説明会の様子】

# 支援団体活動レポート

## 通常総会・交流サロンを開催 ～あきたレディース中央会～

6月25日(火)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、あきたレディース中央会(明石喜美会長)の平成25年度通常総会及び交流サロンが開催されました。

通常総会では、平成24年度の事業報告書及び収支決算書が承認されたほか、平成25年度事業計画、収支予算が満場異議なく原案どおり可決決定されました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、明石喜美会長が再任されました。

引き続き交流サロンが行われ、「菓子工房エスポワール」オーナーの菊地整氏を講師として「自然派お菓子へのこだわり～“白神そばぷりん”の販売促進とともに～」と題して講演が行われました。菊地氏は、開業までの道のりと、本会支援事業を通じて商品改良に取り組んだ成果や今後の展開について述べ、受講者は熱心に耳を傾けていました。



【総会の様子】

## 通常総会・研修会を開催 ～あきた食品振興プラザ～

6月26日(水)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、あきた食品振興プラザ(後藤一会長)の平成25年度通常総会及び第1回研修会が開催されました。

通常総会では、平成24年度事業報告書及び収支決算書が承認されたほか、平成25年度事業計画及び収支予算が満場異議なく原案どおり可決決定されました。

引き続き、平成24年度商品開発・改良助成事業の成果報告及び県産えだまめを活用した商品開発展示報告が行われました。

また、県観光文化スポーツ部観光振興課の佐々木氏から秋田DC・国民文化祭の開催概要と食品業界における取組について、県農林水産部農業経済課の柴田氏からは6次産業化関連事業について、それぞれ情報提供があり、出席者にとって貴重な情報収集の場となりました。



【総会の様子】

## 通常総会・研修会を開催 ～秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会～

6月28日(金)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会(佐賀善美会長)の平成25年度通常総会及び第1回研修会が開催されました。

通常総会では、平成24年度の事業報告及び収支決算が承認されたほか、平成25年度事業計画、収支予算が満場一致をもって原案どおり可決決定されました。

引き続き第1回研修会が2部構成で開催され、前半は、(株)国際研修サービス総務部長の伊東新介氏より、「国際送金サービスについて」と題し、実習生受入事業に不可欠な国際送金サービスについての最新の情報提供がありました。

また、後半は、社会保険労務士の祝修二氏と大同衣料(株)代表取締役の佐々木繁治氏から「縫製業における仕事と育児・家庭の両立支援の進め方」と題して、研修が行われました。佐々木社長は「ワークライフバランスとして育児休業等の整備を図ったところ、自社の離職率は20%未満になった。」等の事例紹介があり、出席者からは驚きの声と、自社でも実践マインドが高まる事例を熱心に聴講しておりました。



【総会の様子】

## 通常総会・研修会を開催 ～秋田県中小企業組合士会～

7月5日(金)、秋田市の第一会館本館において、秋田県中小企業組合士会(堀川深雪会長)の平成25年度通常総会及び第1回研修会が開催されました。

通常総会に先立ち、組合士認定証書の伝達式が行われ、本年度組合士に認定された伊藤真奈美氏(本荘由利電気工事協同組合)、三浦桂子氏(秋田県家畜商業協同組合)、水澤綾香氏(秋田県生コンクリート工業組合)、稲葉健氏(秋田県中小企業団体中央会)の4名に対し、本会高橋事務局長より認定証書を伝達しました。

通常総会では、平成24年度事業報告、収支決算が承認されたほか、平成25年度事業計画及び収支予算等が満場一致をもって、原案どおり可決決定されました。

引き続き、第1回研修会が行われ、講師の(有)エンカレッジ代表取締役の渋谷明美氏から「Ag～私の夢を叶える仕事～」をテーマに講演が行われ、参加者は、渋谷社長が東京で秋田ゆかりの企業に飛び込み営業(取材)をした行動力や、仕事を楽しむ姿勢に刺激を受けていました。



【研修会の様子】

## 交流会を開催 ～秋田県中小企業団体事務局協議会～

7月19日(金)、秋田市のボウルジャンボ秋田において、秋田県中小企業団体事務局協議会(佐藤弘幸会長)主催の交流会(ボウリング大会)を開催しました。

本交流会は、事務局協議会会員相互の親睦を図るとともに、加入促進を目的に関係団体にも参加を呼びかけ、36名の参加者が白熱したゲームを繰り広げた結果、当協議会理事の須田清子氏(秋田市工業団地協同組合事務局長)、近藤晴美氏(秋田県農業機械商業協同組合)、菅佑輔(秋田県中小企業団体中央会)の混合チームが優勝しました。



【交流会の様子】

## 組合相談コーナー 員外理事について

Q 当組合では、来年が役員の改選期にあたり、員外理事の登用を検討しています。しかし、当組合の定款に員外理事の規定がありませんが、員外理事を置くことは可能でしょうか？

A 中小企業等協同組合法の解釈では、理事の定数のうち3分の2までは必ず組合員又は組合員たる法人の役員であることを満たせば、員外理事を置く旨定款に定めなくとも、員外理事を置かない旨の規定がなければ、理事の定数の3分の1までは員外理事を置くことができます。

実際に員外理事を置く場合は、定款に理事の定数の下限の3分の1以内において「何人」と確定数を記載することが員外理事に関する事項を明確にさせる上から望ましいことです。

なお、組合員たる法人の役員でない者(〇〇部長等)や組合員である個人事業者の代表者でない者(代表者の息子等)は員外となりますので、ご注意ください。

※中央会では定款に規定するようアドバイスしていますので、員外理事を置く場合は定款の変更を行ってください。

ここで、員外理事について確認してみましょう。

次の説明が正しければ○を、誤っている場合は×を付けてください。



- 1 員外役員は、理事、監事ともに定数の3分の1まで認められている。
- 2 理事の定数の少なくとも3分の2は組合員又は組合員たる法人の役員でなければならない。
- 3 企業組合では員外理事を置くことができない。

※正解は18ページに掲載しています。

## 平成25年度の研修について【秋田県総合食品研究センター】

総合食品研究センターでは、企業、起業化グループ、直売グループなどを対象に、ご要望に応じて、食品加工の技術向上や新技術習得のための加工研修を実施しております。

同研究センターのスタッフが、基本操作や衛生管理などを細かく指導し、実際の現場で使える実践的な内容となっておりますので、是非、ご活用下さい。

- 申込期限：開催予定日の1ヶ月前まで
- 受講料：1回の研修につき、2,000円/人
- 研修テーマ：(1)農産加工研修  
(2)食品表示の基礎と消費・賞味期限の決め方  
(3)アレルギー物質の表示と検出法の実際  
(4)味噌製造研修  
(5)漬物一般研修  
(6)微生物研修など

【問い合わせ・申し込み先】 〒010-1623 秋田市新屋町字砂奴寄4-26  
秋田県総合食品研究センター 企画管理室(担当 杉本)  
☎018-888-2000 FAX 018-888-2008

## 次世代育成サポートアドバイザーを派遣します【秋田県】

秋田県では、従業員の仕事と育児・家庭の両立のために取組む企業に対し、一般事業主行動計画の策定や両立支援に関する企業内研修の開催について、「次世代育成サポートアドバイザー」を無料で派遣します。(1企業につき、1回)

なお、予算に達し次第、申請の受付を終了します。

- 対象：従業員100人以下の県内に事業所がある企業
- 事業期間：平成26年3月31日まで

【お申し込み先】 秋田県社会保険労務士会(業務委託先) ☎018-863-1777 FAX 018-863-1839  
【お問い合わせ先】 秋田県 少子化対策局 ☎018-860-1249 FAX 018-860-3871

## 中小企業組合検定試験を実施します【全国中央会】

全国中小企業団体中央会では、中小企業組合役職員の資質向上と組合士制度の普及を目的に、毎年、中小企業組合検定試験を実施しております。

中小企業組合検定試験に合格することは、中小企業組合に従事する人がプライドを持って組合活動に専念し、自己啓発を進めるための目標になりますので、是非チャレンジしてください。

なお、本会では試験直前に受験対策講座を実施する予定です。

①試験科目	「組合会計」、「組合制度」、「組合運営」
②試験日	平成25年12月1日(日)
③試験会場	秋田市内
④受験料	5,000円(一部科目免除者は3,000円)

【お問い合わせ先】 本会企画広報課 ☎018-863-8701

## 第33回秋田県特産品開発コンクールの開催について【秋田県】

秋田県では、市場性、品質・デザイン等に優れた新たな県産品を表彰・PRする「第33回秋田県特産品開発コンクール」を次のとおり開催します。

○**応募資格**：秋田県内に事業所を有する企業・組合・各種団体・グループ及び個人

○**募集部門**：①加工食品部門(菓子、農林畜水産加工品等、酒類)

②民芸品部門(家具類を除く、小木工加工品、民芸品)

○**募集対象**：①加工食品部門：審査日以前1年以内に新たに開発された商品で、同一商品の再生産が可能なもの。なお、過去に生産・販売・応募した商品の改良品も対象とする。

②民芸品部門：審査日以前2年以内に新たに開発された商品で、同一商品の再生産が可能なもの。なお、過去に生産・販売・応募した商品の改良品も対象とする。

○**応募締切**：平成25年8月9日(金) 午後5時必着

【申込先・お問い合わせ先】(株)秋田県物産振興会 ☎018-836-7830



### 組合ティールーム

あきたレディース中央会

会長 明石 喜美さん

#### ○業界の現状について

私は大館市大町商店街で、贈答品等を販売するお店を運営しています。近年は、郊外のロードサイド店などに客足が流れ、売上は減少しています。

大館市大町商店街振興組合では旧正札竹村跡地の活用が課題となっています。そこで、商店街の女性部と「陽気な母さんの店」の皆さんがタッグを組んで、ハチ公小径内に「NOSHO館フレッシュハチ」を開設し、農産物等を販売し市民から大変好評を得ています。この連携で、女性パワーを活用した事業者と農業者のつながりが実現し、お互いに刺激し合って良い方向に向かっていきます。

#### ○レディース中央会の活動内容と今後の取り組みについて

レディース中央会は、中小企業団体中央会の会員組合に所属する女性部会員及び女性役員、女性経営者などが幅広く交流・連携を深めることを目的に、平成23年7月に設立されました。現在、会員は団体会員が4団体、個人会員が12名となっています。

主な活動内容としては、主に研修会等を実施しており、昨年は中央会の塩田会長をお招きして、事業経営に関する懇談会を開催した他、メイクアップ術の研修会を行いました。今後も研修会や懇談会の開催を通して資質向上に努め、また、他県のレディース中央会との交流を図っていく予定です。

#### ○座右の銘について(普段心がけていること)

座右の銘は「殷鑑(いんかん)遠からず」です。これは、古代中国の言葉で、戒めとすべき例はごく身近なところにあるものだという教えです。偉い人の話を聞くことも良いですが、身近な人の話にこそ収穫があり、刺激となります。

#### ○趣味

食に関することなら何でもします。料理も作りますし、食材を探しますし、食べ歩きもします。特に、食材としては、コリンキー(黄色いカボチャの様なもの)にハマっています。また、旅行が好きで、今行きたい場所は、国内では鎌倉、海外ではシンガポールです。

